

本匠中学校区では、校区内の2学校（本匠小学校、本匠中学校）と合同で校区学校運営協議会を組織し、取組の方向性を明確化・共有するとともに、熟議テーマを設定して協議会の充実を図っている。

背景・取組概要

学校運営協議会構成団体の代表、公的機関の代表（振興局長、駐在所、公民館、こども園）、地域学校協働活動推進員等が委員として委嘱されており、地域ぐるみで教育活動を推進している。

工夫・ポイント

- ◆ 熟議テーマを設定し、協議会委員を小グループに分け、各校の管理職が進行しながら話し合いを進めている。
- ◆ 熟議シートを用いて話し合いの内容や過程が分かるように可視化している。
- ◆ 委員から出された意見やアイデアをテーマに沿って整理し、学校運営や授業づくりに反映させている。



熟議シートを用いて話し合う

特徴的な活動

- ◆ 本匠地区のひと・もの・ことを生かした教育活動を推進するため、地域行事への参加や、地域行事を教育活動に位置付けることを検討している。
- ◆ 作業部会（環境整備支援、教育活動支援）の構想について、委員の意見を踏まえながら具体的な部会設置や連絡体制の整備を進めていくようにしている。
- ◆ 地域協育コーディネーターとの連携により、カヌー教室等の多様な体験活動を推進している。



出された意見・アイデアを共有